

東京都認知症 多職種協働研修テキスト



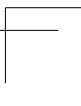
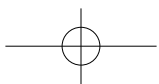
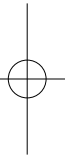
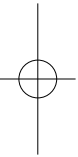
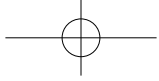
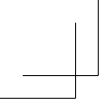
東京都福祉保健局高齢社会対策部
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

東京都認知症 多職種協働研修テキスト



東京都福祉保健局高齢社会対策部

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター



はじめに

医療や福祉のサービス提供に際して、多職種連携の重要性が強調される一方、サービス提供の際に、とりたてて連絡を取り合っていない現場も多い。そのような状況では、他職種が提供しているサービスにも関心を払い、コミュニケーションをとり始めることが連携の出発点だろう。他職種のアプローチが少しでも理解できると、そのアプローチに配慮して行動するようになる。支援の目標は依然として専門職によって異なり、自分たちのアプローチを変えないが、他職種のアプローチを意識するだけで複数の職種が提供するサービスの重複や切れ目が減り、利用者の混乱や苦労を減らすことができる。さらに連携が発展すると、複数の職種が共通の目標に向かって行動するようになる（しかしこの段階でも目標設定はいずれかの専門職が定めたもので共同作業で定めたものではない）。やがて共通の目標に向けて従来の慣習を超えた活動を行えるようになる。この段階になると、多職種で提供するサービス全体の効果は、専門職が個別に提供するサービスを足し合わせたものよりも大きくなる。そして最も連携が成熟した段階とは、多職種で到達目標の初期設定から行う段階である。しかし、このような成熟した連携を、関わるすべての職種で実現させている機関はほとんどない（関わる職種がすべて同一法人であれば別だが）。ある職種と緊密な連携を形成できても、別の職種とは連携できていないことが多い。また、組織改編やメンバーの交代によって成熟しかけた連携は後退してしまうこともある。つまるところわれわれは、関係する他の職種との連携について、それぞれの成熟度をつねに測りながら一步先を目指し続けることが大切なのだと思う。

そして連携のいずれの段階においても、連携の良否を左右するのはコミュニケーションの質であることに異論はないだろう。専門が異なる様々な職種が集まる中、それぞれの立場から広く意見が出され、それぞれの立場の人がきちんと受け止めることが、質の高い多職種のコミュニケーションと言えるだろう。そうしたコミュニケーションこそが多様な視点と観点をもたらし、全人的支援やテラー・メードの支援を可能にすると思われる。そうした指摘が本会議のワーキングでも繰り返しなされた。これからはじまる研修の最大の目標は、つまるところ多職種のカンファレンスのためのコミュニケーション力の向上と言えるのではないか。そのためには、ある人は発言を控えて「聞く」力を高め、ある人は勇気を出して「発言する」力を高める必要があるだろう。ちなみに筆者はできるだけ発言を控えて多職種の意見に耳を傾けることを学ぶ必要があるだろう。このテキストを目にしているあなたはどちらのスキルを学ぶ必要があるだろうか。この研修によって、地域のカンファレンスが多種多様な視点に満ちたものになれば、多職種の連携・協働は大きく前進し、認知症の人と家族の生活の質を上げることができるはずである。

研修のあり方に関する議論とともに、研修テキストの執筆・編集には多くの方々の多くの時間が費やされた。それは出来上がったテキストをご覧いただければきっとお分かりいただけると思う。この会議に関わったすべての方々に心から感謝申し上げたい。

『医療従事者等の認知症対応力向上に向けた関係者会議』を代表して
首都大学東京 繁田雅弘

目次

はじめに

首都大学東京 副学長 繁田雅弘

第1部 多職種協働の理論と研修のあり方について

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長 栗田主一

1. はじめに.....	2
2. 地域発の、地域に根ざした、統合ケア.....	2
3. 統合ケアを実現するための戦略.....	3
4. 統合ケアを実現するための仕組み.....	4
5. 課題解決に向けた多職種協働のアプローチ.....	5
6. 多職種協働研修のあり方.....	7
7. 今後の課題.....	10

第2部 さまざまなステージにある認知症の方への多職種協働支援の視点

事例1 認知症のはじまり、気づき、診断、支援の導入..... 13

1. 地域包括支援センターの視点と役割.....	14
立川市南部西ふじみ地域包括支援センター センター長 山本繁樹	
2. かかりつけ医の視点と役割.....	17
医療法人社団翔洋会 理事長 辻正純	
3. 認知症疾患医療センターの視点と役割.....	19
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 精神科医長 古田光	
4. 薬剤師の視点と役割.....	21
公益社団法人東京都薬剤師会 常務理事 大木一正	
5. 訪問看護師の視点と役割.....	24
財団法人日本訪問看護振興財団 あすか山訪問看護ステーション 統括所長 平原優美	
6. 介護支援専門員の視点と役割.....	26
特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会 理事 石山麗子 (東京海上日動ベターライフサービス株式会社 営業部 シニアケアマネジャー)	
7. 家族支援の視点と役割.....	29
特定非営利活動法人介護者サポートネットワークセンターアラジン 理事長 牧野史子	
8. 歯科医師の視点と役割.....	31
公益社団法人東京都歯科医師会 地域保健医療常任委員会委員長 高齢者保健医療常任委員会委員長 細野純	
9. 作業療法士の視点と役割.....	34
医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック 作業療法士 村島久美子	

コラム	どのような情報をどういうタイミングで家族に伝えるべきか	37
	首都大学東京 副学長 繁田雅弘	
10.	ケアの統合に向けて	39
	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長 栗田主一	
事例2	認知症診断後の在宅介護、BPSDの出現、ADLの低下	41
1.	認知症疾患医療センターの視点と役割	42
	国家公務員共済組合連合会立川病院 内科部長 太田晃一	
2.	かかりつけ医の視点と役割	44
	医療法人社団翔洋会 理事長 辻正純	
3.	介護支援専門員の視点と役割	47
	特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会 理事 石山麗子 (東京海上日動ベターライフサービス株式会社 営業部 シニアケアマネジャー)	
4.	訪問看護師の視点と役割	50
	財団法人日本訪問看護振興財団 あすか山訪問看護ステーション 統括所長 平原優美	
5.	居宅サービス事業所の視点と役割(訪問介護、通所介護、短期入所介護)	53
	株式会社すずらん 代表 今井康明	
6.	薬剤師の視点と役割	56
	公益社団法人東京都薬剤師会 常務理事 大木一正	
7.	歯科医師の視点と役割	59
	公益社団法人東京都歯科医師会 地域保健医療常任委員会委員長 高齢者保健医療常任委員会委員長 細野純	
8.	理学療法士の視点と役割	62
	リハビリ推進センター株式会社 代表 阿部勉	
9.	家族支援の視点と役割	65
	特定非営利活動法人介護者サポートネットワークセンターアラジン 理事長 牧野史子	
10.	ケアの統合に向けて	67
	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長 栗田主一	
事例3	認知症未診断、BPSDの出現、身体合併症、一般病院への入院	69
1.	一般病院の医師の立場から	70
	杏林大学医学部付属病院 高齢診療科・もの忘れセンター 准教授 長谷川浩	

2. 一般病院の看護師の視点と役割	75
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 認知症看護認定看護師 白取絹恵	
3. 一般病院のソーシャルワーカーの視点と役割	79
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 畠山啓	
4. 介護支援専門員の視点と役割	82
特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会 理事 石山麗子 (東京海上日動ベターライフサービス株式会社 営業部 シニアケアマネジャー)	
5. 介護老人保健施設の視点と役割	85
医療法人社団翔洋会 理事長 辻正純	
6. 地域包括支援センターの視点と役割	88
立川市南部西ふじみ地域包括支援センター センター長 山本繁樹	
7. 居宅サービス事業所の視点と役割	91
株式会社すずらん 代表 今井康明	
8. 家族支援の視点と役割	94
特定非営利活動法人介護者サポートネットワークセンターアラジン 理事長 牧野史子	
9. ケアの統合に向けて	96
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長 栗田主一	
事例4 一人暮らしの認知症、BPSDが悪化、隣近所とのトラブル	99
1. 地域包括支援センターの視点と役割	100
立川市南部西ふじみ地域包括支援センター センター長 山本繁樹	
2. 認知症疾患医療センターの医師の視点と役割	103
東京都立松沢病院 精神科医長 新里和弘	
3. 精神科看護師の視点と役割	105
東京都立松沢病院 認知症看護認定看護師 鳥山美鈴	
4. 認知症疾患医療センターのソーシャルワーカーの視点と役割	107
公益財団法人東京都保健医療公社 荏原病院 認知症疾患医療センター 地域医療連携室 医療相談係 鈴木謙一	
5. 訪問看護師の視点と役割	110
財団法人日本訪問看護振興財団 あすか山訪問看護ステーション 統括所長 平原優美	
6. 介護支援専門員の視点と役割	112
特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会 理事 石山麗子 (東京海上日動ベターライフサービス株式会社 営業部 シニアケアマネジャー)	

7. 居宅サービス事業所の視点と役割：一人暮らしの認知症に人を支える	115
東京都認知症介護指導者会 会長 井上信太郎	
8. ケアの統合に向けて	118
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長 栗田主一	
事例5 認知症の進行、身体合併症、入院、在宅介護の継続、看取り	121
1. 訪問看護ステーションの視点と役割	122
財団法人日本訪問看護振興財団 あすか山訪問看護ステーション 統括所長 平原優美	
2. 一般病院の看護師の視点と役割	125
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 認知症看護認定看護師 白取絹恵	
3. 地域包括支援センターの視点と役割	128
立川市南部西ふじみ地域包括支援センター センター長 山本繁樹	
4. 在宅療養支援診療所の視点と役割	131
医療法人社団至高会 たかせクリニック 院長 高瀬義昌	
5. 居宅サービス事業所の視点と役割：最期まで、認知症の人を在宅で支える	134
東京都認知症介護指導者会 会長 井上信太郎	
6. 介護支援専門員の視点と役割	137
特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会 理事 石山麗子 (東京海上日動ベターライフサービス株式会社 営業部 シニアケアマネジャー)	
7. 薬剤師の視点と役割	140
公益社団法人東京都薬剤師会 常務理事 大木一正	
8. 歯科医師の視点と役割	144
公益社団法人東京都歯科医師会 地域保健医療常任委員会委員長 高齢者保健医療常任委員会委員長 細野純	
9. 家族支援の視点と役割	147
特定非営利活動法人介護者サポートネットワークセンターアラジン 理事長 牧野史子	
10. ケアの統合に向けて	149
医療法人社団慶成会青梅慶友病院 看護介護開発室長・老人看護専門看護師 桑田美代子	
執筆者が選んだキーワード	151

※執筆者所属等は初版発行当時（平成26年11月）の内容です。